

東京都, 2012. 平成 24 年度病害虫発生予察特殊報第 1 号. 2 pp.
東京.
渡辺泰明・相馬州彦, 1972. 三宅島の昆虫相. 農学集報, 17 (1):
1-58.

(重藤裕彬 900-0001 那覇市港町 2-11-1
那覇植物防疫事務所)
(瑤寺 裕 060-8589 札幌市北区北九条西 9 丁目
北海道大学昆虫体形学教室)

【短報】群馬県と茨城県におけるリュウキュウダエンチビドロムシの記録

リュウキュウダエンチビドロムシ *Pelochares ryukyuensis* Satô, 1966 は, 伊藤・前原 (2017) により本州での分布が周知されて以降, 本州～九州の各地で記録されるようになった種である (中村, 2019; 橋爪, 2019). 関東地方においては, これまで千葉県 (君津市: 中村, 2019), 東京都 (港区: 野村ら, 2019; 稲城市: 伊藤・前原, 2017), 栃木県 (足利市: 大川, 2020a; 栃木市: 大川, 2020b) の 3 都県から知られている. 筆者らは, 群馬県および茨城県において, 両県から初記録となる本種を確認しているの
で以下に記録する.

9 exs., 群馬県板倉町海老瀬 (渡良瀬遊水地), 16. VI. 2020, 小林栄一・小池正之の採集, ぐんま昆虫の森
保管; 1 ex., 同所, 11. VII. 2020, 中村涼の採集, 保管;
1 ex., 茨城県古河市立崎, 8. XII. 2019, 神澤由己の採集,
保管.

群馬県の 2 例は, 渡良瀬遊水地での灯火採集で得られた. 6 月 16 日の灯火採集地点の付近には谷田川が流れており (図 1), 採集個体が遊水地内の湿地と川のどちらから飛来したかは不明である. 7 月 11 日の採集個体は, 採集地点の立地からして, 遊水地内



図 1. 6 月 16 日の灯火採集地点.

の湿地から飛来したと思われる. 茨城県では, 渡良瀬川河川敷において, 洪水時に堆積した枯れ草などを篩にかけることによって得られた. 種同定は伊藤・前原 (2017) に拠った. 大川 (2020a, b) の記録も含め, 上記の産地はいずれも渡良瀬川流域の近接した地点であり, 本種はこの地域に広く分布すると考えられる.

末筆ながら, 標本の採集・同定に協力いただいた小林栄一氏, 小池正之氏, ぐんま昆虫の森の金杉隆雄氏, 茨城県のチビドロムシ科の記録についてご教示いただいた大桃定洋氏に厚く感謝申しあげる.

引用文献

- 橋爪拓斗, 2019. 九州におけるリュウキュウダエンチビドロムシの記録. さやばねニューシリーズ, (35): 39.
伊藤 淳・前原和雄, 2017. 本州のリュウキュウダエンチビドロムシとチビドロムシ. さやばねニューシリーズ, (28): 36-37.
中村 涼, 2019. 千葉県のリュウキュウダエンチビドロムシとチビドロムシ. さやばねニューシリーズ, (35): 38-39.
野村周平・松原 豊・山崎裕志・上田衛門・亀澤 洋, 2019. 国立科学博物館附属自然教育園 (東京都港区白金) 産甲虫類目録. 自然教育園報告, (51): 37-71.
大川秀雄, 2020a. 足利市産昆虫類分布資料 (XI). インセクト, 71 (1): 7-12.
大川秀雄, 2020b. 洪水により打ち上げられたゴミの中より得た渡良瀬遊水地の甲虫数種の記録. インセクト, 71 (1): 13-15.
(中村 涼 286-0035 成田市囲護台 3-5-5)
(茶珍 護 376-0132 桐生市新里町鶴ヶ谷 460-1
群馬県立ぐんま昆虫の森)
(神澤由己 189-0021 東村山市諏訪町 3-7-22)

◇学会の発行物・バックナンバーの販売委託先◇

昆虫文献 六本脚

〒 102-0075 東京都千代田区三番町 24-3

三番町 MY ビル 3 階

TEL: 03-6825-1164

FAX: 03-5213-1600

E-mail: roppon-ashi@kawamo.co.jp

URL: <http://kawamo.co.jp/roppon-ashi/>